



うちこちょう
内子町

〒795-0392
喜多郡内子町平岡甲168

電話
番号 (0893)
44-2111

地域
指定 過疎 山振 農工 辺地(13)
特農 農振 県立公園 拠点都市

FAX (0893)
44-4300
(総務課)

沿革

平17.1.1 町制施行
(内子町・五十崎町・小田町 合併)

市町のあらまし

内子町の中心部は、愛媛県のほぼ中央部に位置し、県都松山市から約40kmの地点にあたり、国道56号、379号及び380号、J.R.高速道路などの幹線が通っている。また、町の中央部を一級河川・肱川の支流小田川が流れている風光明媚な中山間地域である。

面積は299.43km²で、その広がりは東西30.0km、南北27.0km、平地は少なく、山林が77%を占めている。気候は小田深山を除き、四季を通じて温暖で、そこではくまれた農林産物は多種多様である。また歴史も古く、木鋸や和紙などの生産地として名声を高め、その繁栄の行まいをまちづくりの柱にすえている。

由来

町内には、旧石器時代のものと思われる石器や、弥生時代と推定される土器の破片、土錘なども発見されており、古くから人が居住していたと思われる。また、藩政の時代にあつては大洲藩ならびに新谷藩に属していた。その後、紆余曲折を経て、昭和の大合併で、昭和29年から30年に相前後してそれぞれ内子町、五十崎町、小田町を形成した。平成17年1月1日、3町が合併し「内子町」となる。

庁舎の建設年度

建築年度	増 改 築	主な増改築箇所
昭53年度	平16年度	4階建ての執務室などを増築

行政組織

(平成28.4.1現在)

区 分	名 前	任 期
町 長	いなるも たかし 稲本 隆壽	平成29.2.5
副町長	稲田 繁	平成29.2.15

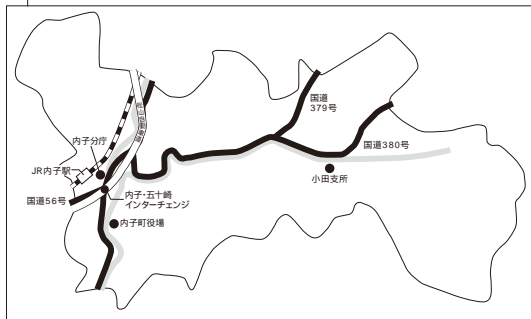
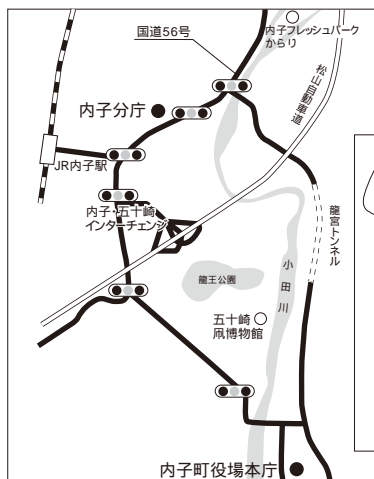
議 会 (平成28.4.1現在)

議長	池田 洋助	副議長	寺岡 保
議員	(条例定数) 15人		
	(現 員) 15人		
任期	平成29.4.30		

職員数 (平成28.4.1現在)

普通会計	207人
企業会計	4人
その他会計	11人
計	222人

地 図



(交通機関) JR内子駅より徒歩30分、町営バス及びタクシーで5分

人口・世帯数

()は増減率

区分	平2国調	平7国調	平12国調	平17国調	平22国調	平27国調	28.11住基
人口	(5.8%) 22,687	(4.4%) 21,678	(4.1%) 20,782	(5.6%) 19,620	(8.0%) 18,045	(7.2%) 16,742	17,543
男	10,713	10,233	9,819	9,232	8,499	7,913	8,388
女	11,974	11,445	10,963	10,388	9,546	8,829	9,155
世帯数	6,985	6,969	7,062	7,017	6,722	6,475	7,259

年齢構成 (平27国調)

選挙人名簿
登録者数 (平28.9.2現在)

区分	14歳以下	15歳以上64歳以下	65歳以上	男	女	計
人口	1,904人	8,422人	6,352人	7,066人	7,877人	14,943人
構成比	11.4%	50.3%	37.9%			

喜多郡

土地利用

(平27.2.1現在) (ha.%)

総面積 平27.10.1(kil)	林野面積	林野率	経営耕地面積			宅地化率 平27.1.1
			田	畑	樹園地	
299.43	23.067	77.0	1.186	270	331	585

産業 産業構造

(百万円・人)

区分	総生産額(平25年度)		就業人口(平22国調)	
第1次	3,349	7.7%	1,971	22.9%
第2次	8,522	19.5%	2,069	24.0%
第3次	31,754	72.8%	4,543	52.7%
計	43,625	100.0%	8,618	100.0%

(注) 総生産額の計欄は帰属利子の控除等を行っており「就業人口」の計欄は分類不能の人数を含む。

主要製造業 (平26年)

(百万円)

所得 (平25年度)

品名	製造品出荷額等	1人当たり 市町民所得	千円
繊維	5,154	2,057	
食料	3,319		

平成27年度の主な建設事業

(百万円) 今後の主な建設事業

(百万円)

事業名	事業費	事業名	事業費
庁舎耐震補強事業	104	デジタル防災無線整備事業	806
大瀬小学校改築事業	263	内子運動公園整備事業	112
県営中山間地域総合整備事業	12	農山漁村地域整備交付金事業(山のみち:林道)	101
育成林整備事業	8	農山漁村地域整備交付金事業(道交:林道)	101
愛媛国体施設整備事業	122	社会資本整備総合交付金事業	155
農山漁村地域整備交付金事業(山のみち:林道)	99	町営住宅整備事業	169
農山漁村地域整備交付金事業(道交:林道)	81	スキー場施設補修事業	16
社会資本整備総合交付金事業	232	内子児童クラブ移設事業	25
がけ崩れ防災事業	68	がけ崩れ防災事業	73
大瀬中学校体育館耐震補強事業	161	大瀬中学校屋根修繕事業	17
町営住宅整備事業	119	立川小学校浄化槽整備事業	8
立川小学校体育館耐震補強事業	58	愛媛国体施設整備事業	38

観光・レクリエーション

名勝旧跡 観光施設	八日市護国地区町並(重要伝統的建造物群保存地区)内子座、本芳我家(重要文化財)木蝨資料館「上芳我邸(重要文化財)大村家(重要文化財)文化交流ヴィラ」高橋邸、高いと暮らしの博物館、町家資料館、内子フレッシュパークからり、観光農園(ぶどう、桃、梨ほか)田丸檜(屋根付橋)弓削神社、大瀬の館、大瀬の米蔵、川登筏流し資料館、風物博物館、龍王公園、泉谷の棚田(棚田百選)、紅葉滝、だらり権現、小田深山渓谷、SOL-F Aオダスキーゲレンデ、道の駅「せせらぎ」、天然記念物(イチイガシノキヤキ、乳出の大イチヨウ)
祭り 催し物	高昌寺ねは祭(3月14、15日)川登川まつり筏流し(4月第4日曜日)いかざき大風合戦(5月5日)うちこ夏祭(7月中旬)小田登籠まつり(7月最終土曜日)内子笹祭(8月6日～8日)いかざき夏祭り花火大会(8月14日)寺村山の神火祭(8月15日)宮相撲(9月23日)川中三島神社秋祭(10月21日)石畳水車まつり(11月3日)小田の郷ふるさとまつり(11月第1日曜日)
公営 宿泊施設	石畳の宿...農村体験宿泊施設。客室3部屋、宿泊12人程度、ほかに囲炉裏の間などあり。(電話0893-44-5730) 文化交流ヴィラ「高橋邸」...1日1組限定、宿泊10人まで。火曜日定休。(電話0893-44-2354) 大瀬の館...1日1組限定、宿泊18人まで。(電話0893-47-0102) いかだや...1日3組、宿泊8人まで。(電話0893-59-9900) 小田深山荘...宿泊28人まで。渓谷散策・溪流釣りなど。12月～3月降雪のため閉鎖。(電話0892-52-2384) お山の学校ながた...田舎生活体験宿泊施設。客室2部屋、宿泊20名、多種体験メニューを用意。年末年始休。(電話0893-45-0232)

名物・特産品

和ろすく、棕桐細工、地酒、味噌、桃、梨、ぶどう、ゆず、栗、柿、栗饅頭、町並みせんべい、漬け物、しいたけ、手漉き和紙、桐下駄、飾り扇、扇もなか、扇せんべい、たらいどん、ゆずっこ、葉たばこ

主な公共施設

公共施設...小学校(7)、中学校(4)、高等学校(2)、幼稚園(4)、保育園、自治センター(5)、児童館(2)、内子町図書情報館、内子町共生館、内子町文化交流センター「スバル」、内子町就業改善センター、内子町クリーンセンター、内子消防署、内子町浄化センター、内子町林業センター、保健センター(3)、特別養護老人ホーム(3)、共同福祉施設、ビジターセンター「A-runze」、子育て支援センター、福祉館(2)

スポーツ・レジャー施設...内子運動公園、龍王公園、城の台公園、五十崎体育館、小田体育館、中田液体育館、内子スポーツセンター、神南山ふるさと森公園、小田深山千年の森公園、SOL-F Aオダスキーゲレンデ、五十崎プール、小田プール

主要課題

内子町まちづくり戦略

戦略1 「稼ぐ力」のある内子町をめざす

農業の衰退を食い止める「攻めの農業」を推進する。
持続可能な森づくり産業(六次産業)としての「森業」を振興する。
事業者と行政が協働して、特色とにぎわいのある商店街をつくる。
着地型観光を推進し、持続可能な観光産業を確立する。
国内外との交流をはかり、新しいビジネスチャンスを開拓する。
情報通信基盤を整え、経済活動の活性化、高度化をはかる。
地域エネルギーの開発に取り組み、地域の自立度を高める。
町内の企業と連携して安定した雇用を確保する。
特色ある産業や起業を支援する。
独自の技を持つ移住者を受け入れ、多様な業種のある町をめざす。

任せる。

市街地整備、集落整備等のコンパクト化をめざす。
公共施設等は、統廃合、民間施設との複合化、合築や減築など、将来の利用状況や維持管理体制を予め想定して整備をはかる。
Uターン者を増やし、子育て支援策を強化充実させ、子どもたちの元気な声が響く人口定住化のまちをめざす。
町民の安心・安全を守る広範で総合的な災害対策に取り組む。
子どもたちへのふるさと教育を推進するとともに、地域の伝統や文化を再評価する社会教育活動を促進する。
高齢者や障がい者福祉を充実させ、いつまでも安心して暮らせるまちをめざす。
住民同士の絆を強めるとともに、自治力のあるコミュニティを構築する。
町民や職員、専門家等の知恵を結集し、まちづくり提案する組織を検討する。
職員の能力向上に力を入れ、少数精鋭型役場をめざすとともに、行政職員OBの能力を活かす仕組みをつくる。

戦略2 「住み続けられる」内子町をめざす

行政サービスの低下を防ぎ、町民の利便性の向上をめざして、情報通信技術を積極的に活用するとともに、民間にできることは、できるだけ民間に

地域づくりの事業等

内子町まちづくり戦略に基づき、「第2期中内子町総合計画」に掲げるプロジェクト10を推進します。
プロジェクト10(重要施策)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 まちなかりバイバル・プロジェクト | 6 美しい内子プロジェクト |
| 2 いかざき・ワンダーランド・プロジェクト | 7 着地型観光プロジェクト |
| 3 小田流ライフスタイル・プロジェクト | 8 子育て応援プロジェクト |
| 4 うちこ森業プロジェクト | 9 情報推進化プロジェクト |
| 5 安全・安心まちづくりプロジェクト | 10 地域エネルギー・プロジェクト |

市町が出資している地方公社の設立状況

(平成28.4.1現在)

形態	地方公社の名称	設立登記年月日	資本金(千円) 出資割合(%)	主な事業内容
(公財)	内子町国際交流協会	平 6 10 . 1	227 475 (51)	国際交流、ホームステイ、海外研修補助制度、支援
(株)	内子フレッシュパークからり	平 9 . 4 . 1	70 000 (50)	農産物の販売及び加工、レストラン経営など
(株)	小田まちづくり	平14 . 3 27	35 350 (57)	「小田の郷せせらぎ」運営(特産品販売、農産物販売)
(株)	小田森林ログハウジング	平 6 . 8 29	20 000 (27)	建築・大工工事及び建設資材、木材工作物の卸売

総合計画

基本構想			基本計画
計画の名称	議決年月日	期間	期間
第2期内子町総合計画	平27.3.20	平27～36年度	平27～31年度

行政機構

(平成28.4.1現在)

